

人生 楽ありゃ苦もあるさ

先月下旬、福井県で開催された研究会に参加し、記念講演で、福井県敦賀市出身の俳優大和田伸也さんのお話を聞いてきました。

大和田さんは、早稲田大学在学中、俳優を志して劇団四季に入団しましたが、その時、父親から「役者である前に一人の誠実な男たれ」と言われたそうです。その後、NHKの朝の連続テレビ小説「藍より青く」に出演してから、本格的な役者人生を歩み始めました。



助さん 水戸黄門 格さん (大和田伸也さん)

しかし、「藍より青く」の役柄が「真面目な青年役」であったため、その印象が強く、その後も同じような役の依頼が続きました。そのことに悩んで、当時共演していた高倉健さんに、「役者としての枝を増やしたい(いろいろな役をやりたい)」と相談したら、高倉さんから「枝を増やすよりは、幹を太くした方が良い」とのアドバイスを頂いたそうです。

大和田さんは、当時の超人気番組「水戸黄門」で、格さんの役でも活躍しています。

講演では、東日本大震災の被災地を訪れ、水戸黄門の主題歌「ああ人生に涙あり」を歌うと、特にご年配に方々から「たいへん元気づけられた」と感謝されるというお話があり、実際に主題歌を歌っていただきました。さらに、「え〜い静まれ静まれ、静まれ〜い!.....」で始まる格さんの決めゼリふも聞くことができました。

被災地の人達をも元気つけた水戸黄門の主題歌を紹介します。この歌詞のように、生徒たちも、何かを求めて、しっかりと自分の道を歩んでほしいと思いますし、そのためにも、中学校生活で自分自身をしっかりと鍛えてほしい(幹を太く)と思います。

ああ人生に涙あり 【山上路去作詞・木下忠司作曲】

人生楽ありゃ苦もあるさ
涙の後には虹も出る
歩いてゆくんだしかりと
自分の道をふみしめて

人生勇気が必要だ
くじけりゃ誰かが先に行く
あとから来たのに追い越され
泣くのがいやならさあ歩け

人生涙と笑顔あり
そんなに悪くはないもんだ
なんにもしないで生きるより
何かを求めて生きようよ

栄光・栄誉

第59回 青少年読書感想文全国コンクール大曲仙北審査

自由読書 3年 二席 小松 亜依(県出品) 三席 千葉 和華(県出品) 戸澤 咲子(県出品)
1年 二席 佐々木唯衣

課題図書 3年 三席 千葉 蓮 1年 三席 山崎 禎久 赤上 光

平成25年度愛鳥作品コンクール ポスターの部 佳作 3年 菅原 聖愛

目に見えない世界に生徒がいるⅢ

LINE・トラブル やめられないとまらない → 生活規律のみだれ

「やめられないとまらない」というかっぱえびせんのCMがありましたが、かっぱえびせんは、なくなってしまうば終わりです。

しかし、次々と届くLINEのメッセージに返信するためにやめられず、夜遅くまで起きていて、翌日の学校生活に大きく影響している生徒もいるようです。いわゆるネット依存症の状態です。

さらに調べてみましたら、一般的な話ですが、スマホを使い過ぎる人達に、気分が悪く息苦しさを訴える人、めまいを訴える人、立ちくらみのような症状を訴える人など目立つようになってきているそうです。

保護者の皆様、今一度、お子さんのケータイ・スマホ等の使用のマナー、さらには寝る時間等の確認をよろしくお願いします。



学校では、ケータイ、スマホ等は、中学校生活には必要ないと考えています
学校へのケータイ・スマホ等の持ち込みは禁止です

全校スケッチ会、おもてなしの心も忘れずに



秋田DCキャッチコピー

7日(木)、角中恒例行事「全校スケッチ会」が、1・2年生は桧木内川堤、3年生は武家屋敷を会場におこなわれます。

現在、JRが鉄道旅行が増えるように、秋田県を集中的に宣伝する「秋田デスティネーション(DC)キャンペーン」を実施しており、当日は例年よりも観光客が多いことが予想されます。

昨年のスケッチ会、沖縄からの観光客の方が、角中生の挨拶の良さに感心しておりました。今年も、スケッチで地域の魅力を再発見すると共に、観光客の皆様、地域の一員としてしっかり挨拶、受け答え「おもてなし」をしてほしいと思います。



観光客とふれあい中(昨年)



秋田デスティネーションキャンペーンの一環として、10月12日～14日の3日間、奥羽本線の秋田駅～横手駅間を、蒸気機関車C61「SL秋田こまち号」が走りました。

私の自宅は線路から少し離れていますが、蒸気機関車の「ポーーーーー」と甲高く鳴る汽笛が聞こえ、とても懐かしくなり最終日に撮影してきました。

線路の電柱がある側に居たので、電柱を入れないように撮影したら、少し残念な写真になってしまいました。

(飯詰駅～後三年駅間)